

看護参加型臨地実習を行うにあたってのお願い

看護参加型臨地実習とその必要性

参加型臨地実習とは、臨地の指導者による指導の下、医療チームの一員として、一定の役割と責任を担いながら知識、スキル、態度・価値観を学び、更に思考力・判断力・表現力を 用いて可視化されるパフォーマンスとして示すものであるとされ、ここでは看護参加型臨地実習としています。看護参加型臨地実習は学生が看護実践能力を獲得するために、適切に指導を受けた実習指導者のもとで臨地実習を行うことが義務付けられています（指定規則第4条）。看護学生は看護参加型臨地実習を通して、実習指導者又は大学教員の指導の下で医療チームの一員として看護の役割と責任を担いながら知識、スキル、態度・価値観を学び、更に思考力・判断力・表現力を 用いて看護師になる資質を養います。質の高い医療を支える実践能力を備えた看護師養成のための看護参加型臨地実習は必要不可欠となっております。患者や家族の皆様には、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨地実習生（看護学）としての能力と資格

学生が看護臨地実習（基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、急性看護学実習、慢性・がん看護学実習、こども看護学実習、ウイメンズヘルス看護学実習、精神看護学実習、がんシステムアプローチ実習、総合看護学実習、インターンシップ実習）は、実習参加基準及び要件として、学修到達度の明示された必要な科目を履修し、単位を修得することを定め、それぞれの実習に参加する基盤となる能力（知識、スキル、態度）の基準に達した看護学生のみが看護師、教員の指導のもとに行うことができます。主な実習内容は裏面の一覧表に示します。

医療事故等への補償

看護参加型臨地実習において看護学生が看護行為を行うときには、実習指導者又は教員の指導・監視のもと、安全を守るための指導体制を確保した上で実施致します。患者さんの健康ないしプライバシーを損なうような事象が派生した場合には、看護学部長および病院長の責任において、迅速かつ誠実に適切な対応をいたします。

拒否できる権利

看護参加型臨床実習へのご協力は、患者さんの自由な意思に基づくものであり、いつでも拒否することができます。また、一度同意された後でも、随時その同意を撤回することが可能です。ご協力を辞退されたり、同意を撤回されたりする場合でも、その後の看護等において一切の不利益を被ることはございません。同意を撤回する際は、看護師長またはスタッフまでご遠慮なくお申し出ください。

患者相談窓口について

看護参加型臨床実習における看護行為や、臨床実習生（看護学）に対する疑問、ご意見、ご不安な点等についてご相談いただける専用の窓口を設けております。ご相談の際は患者さんのプライバシーを厳守いたしますので、どうぞ安心してご利用ください。

近畿大学看護学部

近畿大学病院

「看護学部」の臨地実習において実施する主なケア内容」

内 容	具体的項目
日常生活ケア	清潔ケア（整容・更衣）、栄養・食事ケア、排泄ケア、起居動作支援、安全ケア、睡眠ケア、病床・室内環境ケア、意思疎通、心理的ケア、リフレッシュケアなど
診療の補助・医療的ケア	呼吸ケア（吸引、酸素投与管理の補助等）、皮膚ケア（創傷処置の補助等）、苦痛の予防・軽減、医療的手技・処置の介助、療養生活支援など
健康状態・ライフサイクルに応じたケア	発育・発達段階に応じたケア、慢性疾患の健康促進、療養支援、退院時の支援など
フィジカルアセスメント	問診、視診、聴診、打診、触診（バイタルサインチェック、各身体機能の観察を含む）
意思決定の支援や、ご家族への支援	家族からの情報収集・情報提供、家族の意思決定支援、家族との調整、家族の健康管理など
組織・多職種連携	他職種（医師、薬剤師、リハビリスタッフ等）との連携・調整、社会保障制度や社会資源の利用支援など

※1看護学教育・モデルコアカリキュラム（令和6年度改定版） 教育内容、基本的看護技術と
フィジカルイグザミネーション表を参考に作成

※2実施のレベルは見学、指導者・教員とともに、単独で行うのレベルとする。

どのレベルで実施するかは事前に指導者の確認を受け、決定する。